



メディアミックス



ちょっと…コラム～

こちら編集部



知ってる？メディアミックス

小説の映画化やアニメ化、または小説が音楽になったものなど、様々なメディアミックスがあります。色々なメディアと活字で、その世界観にどっぷり浸かるのもメディアミックスの楽しみ方の一つです。

この本は YOASOBI と直木賞作家4人によるプロジェクトの一環で、テーマを決めて書かれた4つの物語が収録されています。そしてYOASOBIが小説を原作に楽曲をどんどん発表しています。どのように小説が音楽になっているのでしょうか。

彼らの楽曲はミュージックビデオも魅力的です。小説から、楽曲から、映像から、いろんな入り口があって、まさにメディアミックス！何から入ってもたっぷり楽しむことができます。



『はじめての』

島本 理生／著、辻村 深月／著、
宮部 みゆき／著、森 絵都／著
水鈴社

今の僕は、本当の僕？

『HELLO WORLD』 野崎 まど／著 集英社文庫

高校に入学したばかりの堅書直実はなかなか同級生になじめず、中学時代と変わらず休み時間も放課後も読書ばかり。

そこに突然「未来の自分」と名乗る男が現れた！直実に恋人を作るために来たのだと言うが…。

伏見稲荷、京都府庁、鴨川など、おなじみの京都を舞台に壮大な仕掛けがゆっくりと動き始める…。北図書館と南図書館も出ています。

2019年公開アニメ映画の原作。



暗闇のなかに、
なにかがいます…？

『深夜廻』

日本一ソフトウェア／原作、黒 史郎／著、溝上 侑／イラスト
PHP 研究所

花火を見るため裏山に登ったハルとユイ。しかし夜が更けるにつれて帰り道がわからなくなり、ついにははぐれてしまう…。

不気味な夜の街で、二人は勇気を出して互いを探す冒険に出る。

2017年に発売されたホラーゲームのノベライズ。ゲームでは触れられていない二人の心情も描かれており、ゲームとは違った雰囲気も味わえる作品。



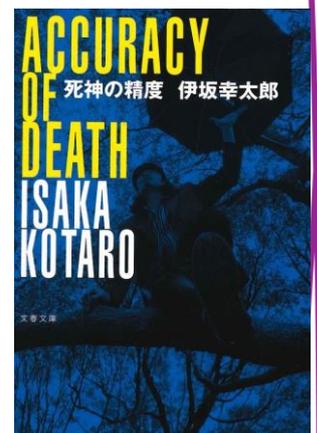
ちょっと会って
みたい死神

『死神の精度』 伊坂 幸太郎／著 文藝春秋

死ぬ間際の人間のもとへ赴き、「可」か「見送り」かを判断する死神。その死神である千葉は、合間に大好きな音楽を聴き、雨に降られつつ淡々と仕事をこなす。

様々な事情を抱えた人々の人間模様や、千葉のちょっとズレている語り口が魅力の一冊。

2008年公開映画の原作。



ドラマ

『祈りのカルテ Medical Record with a prayer』
知念 実希人／著 KADOKAWA

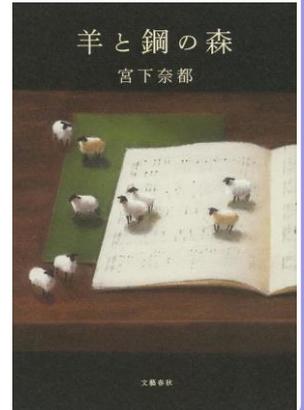
諏訪野良太は医師1年目。研修のため、内科、外科、小児科など様々な科を数か月ごとに回っている。先々で出会う患者は、手術を待つ老人、喘息発作の少女、難病の女優…。彼らが抱える問題の解決の糸口を、諏訪野は懸命に探っていく。心にじんわりしみてくる医療ミステリー。2022年放送ドラマの原作。



映画

『羊と鋼の森』
宮下 奈都／著 文藝春秋

高校生だった外村は、音楽室で偶然ピアノ調律師の板鳥に出会う。それ以来、外村は調律の深い世界に魅せられていく。ピアノが好きな姉妹や、恩師との交流を通して成長していく姿を描いた作品。優しく温かい音を追及する、緊張感と静謐さは、文字でも映像でも味わえます。2018年公開映画の原作。

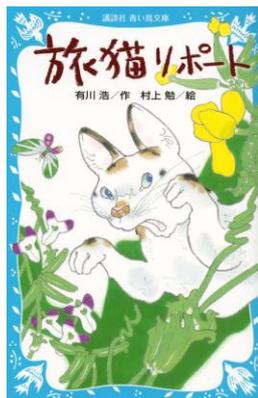


映画

『旅猫リポート』

有川 浩／作、村上 勉／絵 講談社

猫のナナとその飼い主のサトル。サトルは猫語の勘が鋭くてナナの気持ちがよくわかる。ルームメイトとして仲良く暮らしていたがある日…。猫には人間の心の機微がよく伝わるのだとか。愛した分以上に、愛してくれる素敵なルームメイト。ホロリとさせる場面もあるが、読後は優しい気持ちになれる本。2018年公開映画の原作。

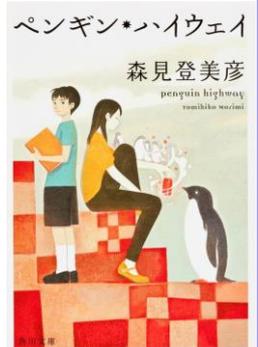


アニメ映画

『ペンギン・ハイウェイ』

森見 登美彦／著 KADOKAWA

好奇心旺盛で研究熱心な小学4年生のアオヤマ君。友人のウチダ君と街でペンギンが出現し、姿を消すという現象を目撃する。早速研究にとりかかるアオヤマ君は、ペンギンと町の歯科医院のお姉さんの関連性に気が付いて…。アオヤマ君たちの研究にページをめくることが楽しくなること間違いなし！2018年公開アニメ映画の原作。



アニメ映画

『伏 贗作・里見八犬伝』
桜庭 一樹／著 文藝春秋

人に紛れ、凶悪事件を次々と引き起こす犬人間を人々は「伏」と呼んだ。ちいさな獵師の女の子・浜路は江戸で暮らす兄に誘われ、伏狩りを行うことになる。伏とは何者なのか、どのように生まれ、どこへ向かうのか？不思議な存在をめぐる因果の物語。2012年公開アニメ映画の原作。



アニメ映画

『小説天気の子』

新海 誠／著 KADOKAWA

離島の実家から家出した高校一年生の森嶋帆高。憧れの東京へ向かうフェリーの中でオカルト雑誌の社長と出会い、一緒に東京で働くことになる。雨の降り続く中、彼は天野陽菜という少女に出会い、彼女の不思議な能力を知る。少年少女の生き方の選択を通して、社会の在り方や人生について考えさせられる本。2019年公開アニメ映画の小説化。



まだまだあります！



Next 本 紹介

次はこれ読んで

これまで紹介した本よりも読み応えのある本を 2 冊ご紹介いたします。

まだ物足りないあなた、こちらもどうぞ！

『武士の家計簿』

磯田 道史／著 新潮社

古文書を丁寧に詳細に読み、江戸から明治の「武家の暮らし」を復元した歴史書です。難しく思われがちな史料読解とその考察が、軽妙な文章で読みやすく書かれています。生き生きとしたリアルな内容に、学術書ながら映画化されました。

また、様々な研究が繋がってこそみえてくる、歴史研究の面白さも知ることができます。

2010 年映画化。



『渦』・『結』

(「妹背山婦女庭訓」シリーズ)

大島 真寿美／著 文藝春秋

江戸時代の大坂・京都を舞台に、浄瑠璃作家・近松半二の生涯とその後の世を描いた小説です。

瓦版、浄瑠璃、歌舞伎、読本、謡い、絵画…。あの手この手で「物語」を創り出し、楽しむもうとする様は、まさにメディアミックス。

江戸の人々を身近に感じます。

もがき、苦しみ、それでも生み出し続ける作家たちの姿は圧巻です。



『平家物語 犬王の巻』

古川 日出男／著 河出書房新社

室町時代の能楽師・犬王が、盲目の琵琶法師・友魚と出会い、彼らはそれぞれ独創的な歌舞を創作し、披露します。

スピード感のある文体がリズムよく、物語のテンポもとても速く感じます。

二人の友情と、室町時代の场景を感じることでできる一冊です。京都が舞台なのでみなさんもイメージしやすいかも？ 2022 年公開アニメ映画の原作。



『小説空の青さを知る人よ』

超平和バスターズ／原作、額賀 滯／著 KADOKAWA



高校 2 年生の相生あおいは、幼いころに事故で両親を亡くし、姉・あかねと二人暮らし。

自分を育てるため将来を諦めた姉に負い目を感じながらも音楽漬けの日々から抜け出せずにいます。そんなある日、あかねの昔の恋人が地元に戻ってくることになり…。

この本の中には「井の中の蛙大海を知らず」という諺が載っていて、これには続きがあり本のタイトルとも繋がっています。探しながら読むのも楽しみの一つではないでしょうか。

2019 年公開アニメ映画の小説化。

『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ 既刊 18 巻

廣嶋 玲子／作、jyajya／絵 偕成社

行きたくても辿り着けない、不思議な駄菓子屋。ふと迷い込んだら見たことのない駄菓子屋が現れます。その女主人・紅子さんは、駄菓子屋にやってきた子どもたちにお菓子を薦めます。ちょっと変わったお菓子たち。お菓子の名前も効果も不思議がいっぱい詰まっています。2020 年公開アニメ映画、テレビアニメの原作。

